

個別面会活動者養成研修およびフォローアップ

特定非営利活動法人 ハートフル

〒662-0866 兵庫県西宮市柳本町 8-15-2F

助成事業の概要

(1) 個別面会活動者養成研修・・・2025年11月29日に、精神科病院等に入院する人の思いに寄り添う「個別面会活動」を担う活動者の育成と、継続的な活動支援を目的として実施しました。12名の方が受講して下さり、精神科病院に入院している方（以下、入院中の方）の声を尊重し、その思いや希望を丁寧に聴く「個別面会活動」の役割や姿勢について理解を深めるために、地域移行支援の背景やアドボカシー（権利擁護）の考え方を講義・演習・グループワークなどを通じて、ともに学びました。

(2) フォローアップ・・・現在活動中の面会ボランティアのフォローアップとして、9月に交流会を行い、個別面会活動で感じた思いやもやもやを共有しました。(1)の研修受講者のうち個別面会活動を希望された方を対象に、個別面会活動の手引きを使用して研修でもお伝えした個別面会活動で大事にしていることを、2026年1月、2月に再度確認する機会を設けました。また、現在活動中の面会ボランティアの体験談を聞いて、今後活動するにあたっての不安の軽減や意欲の向上を目的として、現在活動中の面会ボランティアの方も交えた交流会を実施しました。

事業の成果

(1) 個別面会活動者養成研修・・・面会ボランティアが担う役割として、入院中の方が安心して話せる場を提供し、継続的な関わりを通して思いを表

出できるよう支えることの重要性を共有することができました。また、面会ボランティアは問題を解決することを目的とするのではなく、相手の価値観や人生観を尊重し、押し付けずに寄り添う姿勢が大切であることを確認し、シンポジウムでは入院経験者、活動者、病院職員それぞれの立場から意見が述べられ、個別面会が入院中の方にとって外部とつながる機会となり、思いを伝える支えになることを共有することが出来ました。演習やグループワークを通して参加者同士で意見交換を行い、個別面会活動の意義や実際の関わり方を具体的に学ぶことが出来ました。これらの学びを通じて、今後の活動に向けた理解と意欲の向上が図られた研修となりました。

(2) フォローアップ・・・9月に開催した交流会には、現在活動中の面会ボランティア5名が参加してくださり交代の伝え方の難しさや、活動の実績を知りたいというお声が聞かれました。

2026年1月24日（8名）、2月2日（1名）、2月6日（1名）の3回に分けて、個別面会活動の手引きを使用して研修の振り返りと、記録入力で使用するkintoneの説明というフォローアップを行いました。2026年1月24日は、上述したフォローアップ終了後に現在活動中の面会ボランティア4名にもご参加してもらい、合計12名で交流会を開催しました。実際に活動しているボランティアの体験談を聞くことで、面会時の関わり方や対話の難しさ、大切さについて学ぶことができ、今後活動予定の面会ボランティアより「実際の話聞き不安が和らいだ。」という声が多く聞かれました。現在活動中の面会ボラン

ティアにとっても、自身の経験を伝えることで改めて活動の意義を振り返る機会となり、「初心を思い出すことが出来た。」「仲間が増えて嬉しい。」と今後の活動への期待が聞かれました。交流を通して、無理なく自然な関わりを大切にしながら、互いに支え合い活動を続けていくことの重要性を共有することができました。

■ 成果の広報・公表

西宮市と一緒にやっている、精神科病院に入院中の方の地域移行を推進するための西宮市精神障害者地域移行推進事業の会議にて、精神科病院、障害福祉サービスの支給決定担当である西宮市障害福祉課、生活保護担当課のくらし支援課、相談支援事業所、権利擁護支援センターなどの委員のみなさまに、(1)2025年度個別面会活動者養成研修、(2)個別面会ボランティア交流会の報告を行いました。また、個別面会活動で訪問させて頂く協力3病院に、新たに面会ボランティアになってくださった10名の方が2026年4月以降個別面会活動を開始することと、今後も個別面会活動をともに進めていきたいことを再度共有しました。

そして、個別面会活動をさらに知ってもらうために、2026年3月発行の特定非営利活動法人ハートフルの機関紙に、(1)2025年度個別面会活動者養成研修、(2)個別面会ボランティア交流会について掲載し、まだ個別面会活動をご存じない方にも広めていきたいと考えています。

■ 今後の展開

2025年度は、面会ボランティア6名（登録10名）が、8名の入院中の方に計83回個別面会活動でお話を聴かせて頂きました。個別面会活動を利用されている入院中の方からは、「自分に会

いに来てくれる人が嬉しい。」というお声や、病院職員から「ぜひ病院職員以外の人とお話をする機会をもってほしい。」と前向きなお言葉が聞かれるようになりました。

西宮市精神障害者地域移行推進事業の対象者数（1年以上入院かつ西宮市に住民票のある方）は2025年4月時点で84名です。今後は(1)2025年度個別面会活動者養成研修にて、新たに個別面会活動を始めて頂く面会ボランティアの方の定着、(2)年2回開催予定の個別面会ボランティア交流会にて、経験交流をしながら活動の中で感じた思いやもやもやを共有して、個別面会活動の理解を深めていきたいと考えています。

伸びしろのある活動なので、継続的な活動を通じて個別面会活動を広く周知し、より多くの入院中の方の思いをお聴きして、入院中の方の自己表出や思いの実現をする機会を作っていけるよう取り組んでまいります。